



広報

かつやま

11月号

No.648

Katsuyama City Newsletter

平成20年11月13日発行



じしんってこわいね

11月4日、市内公立保育園4・5歳児が、起震車を使って地震体験が行われました。震度6強という揺れに、恐くて耳をふさいだり、不安そうな表情を見せたりする子も。体験の後は、地震が起きた時の避難や、身を守る方法について学びました。

CONTENTS

- WRO特集
- 選挙特集
- 裁判員制度
- まちづくりシンポジウム

南保育園 Web

歴史の散歩道

(95)

薬師神谷の大岩と 弁財天伝承

野向町薬師神谷地籍には、滝波川をはさんで南北二か所に弁天様と神屋敷といわれる場所がある。その一つは女夫岩と呼ばれる高さ三メートル余、回り三十メートルの大岩である。牛ヶ谷橋の上からは、その大きさが実感できないが、下に降りて見ると巨大さが分かる。もう一つは川を隔てて向かい側の数十メートルに及び岸壁の一角所に岩屋があり、弁財天（弁財天は水の女神・豊饒の女神、やがて財宝の女神・福德神となり「弁財天」とも。七福神の一つにも）が祀られているという。御神体は白檀のような色をした白蛇といわれる。かつては雌雄二匹居たが、ある農夫が殺してしまつたので、今は一匹のみが住んでいるという。なお、この岩屋から流れる水は平泉寺の御手洗池に続いているという。

言い伝えによれば、毎月二回真夜中に、この南北の大岩と岩屋の間に黄金の虹がかかり、神様が渡って行かれるという。これは、神様が半月ずつ南と北の屋敷にわかるがわる住まわれるため、この黄金の橋を見られた者は長者（福運に恵まれるとも）になれるという。



写真上、女夫岩
写真下、岸壁の割れ目に白蛇が住むという。手前は柴田監物のもとと伝える墓碑

が見られる。これによれば、「高一丈 廻り一五間 此岩の向合ひ川を隔、岩壁の上に向ひ弁財天アリ。岩の内より水二筋流出。此水平泉寺御手洗より続きたる由 岩の間より神跡の由にて小蛇見ゆる 白檀宮（色か）也 上十五日は女夫岩下十五日は向ひ岩壁にありと云とある。これらの女夫大岩と岩壁は、現在も村人の間では大切にされ、手を加えずに護られている。

文化財保護委員 増田公輔

人口の動き

	9月末現在	自然動態		社会動態		10月末現在	月間増減
		出生	死亡	転入	転出		
男	12,871人	9	17	14	29	12,848人	-23人
女	14,070人	8	11	22	34	14,055人	-15人
合計	26,941人	17	28	36	63	26,903人	-38人
世帯数	8,354世帯					8,351世帯	-3世帯

▼山々の紅葉も盛りを過ぎ、里では冬支度の時期となりました。▼WRO今年の大会は、3日のエキシビジョン大会をもってすべて終了しました。出場された選手やコーチ、先生およびたくさんの方の応援をいただきました皆様には厚くお礼申し上げます。▼8日に「第2回歯みがきロボットコンテスト」が今年も開催されました。歯に付いた磁石を虫歯に見立て、ロボットの歯ブラシで落として競うユニークなゲームですが、参加者の真剣な眼差しと白熱した展開にはとても感動しました。

編集後記

交通事故発生状況

※高齢者＝65歳以上

件数内訳	平成20年10月末	前年比
総件数	392件	-17
人身事故 (うち高齢者)	57件 (12)	-14 (±0)
死者 (うち高齢者)	3人 (2)	±0 (±0)
傷者	57人	-23
物損事故	335件	-3

11月の納税

国民健康保険税▶3期
納期限▶12月1日(月)
口座振替▶11月26日(水)

広告

広告のお申し込みは
秘書・広報課まで

